

2015年4月14日

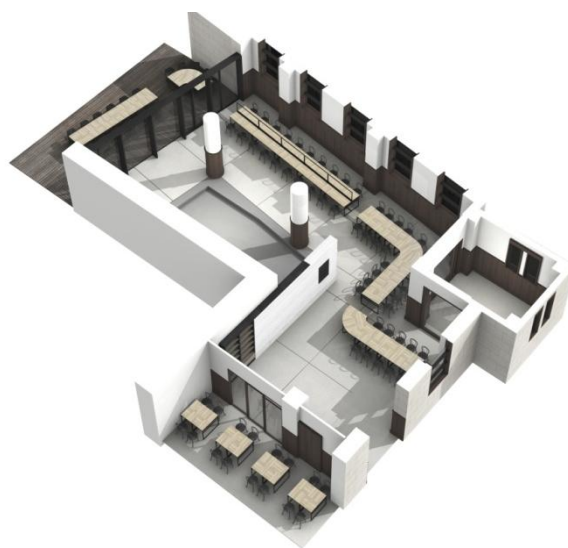
博報堂が生活者発想の体感型カフェ 「HASSO CAFFÈ with PRONTO」を 神田錦町「テラススクエア」にオープン

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）は、博報堂のフィロソフィーである「生活者発想」を体感できるカフェ「HASSO CAFFÈ with PRONTO」を2015年5月15日（金）より「テラススクエア（東京都千代田区神田錦町）」にてオープンいたします。

「HASSO CAFFÈ with PRONTO」の「HASSO」は「発想」を指します。来客者自身が考えたことのないような思考のきっかけと巡り合い「発想」が生まれる場をつくりました。カフェを「くつろぎ」の場所から、多様な思考と刺激が交差し触発しあう「ひらめき」の場所としてアップデートし、数々の「問い」「気づき」「ひらめき」との出会いを演出いたします。

当施設のコンセプトは「発想クロッシング」です。「発想クロッシング」とは、様々な刺激が交差し出会うことで発想が生まれるという考え方を表現しています。このコンセプトに基づき、店内では答えを提供するのではなく、ひとりひとりの「あっ！そうか」を促す様々な装置をご用意いたします。①発想の壁 ②発想の卓 ③発想の窓 これらが日常とは異なる新しい刺激・出会いを生み出すことで、「生活者発想」を体感いただくための開かれた場として位置づけてまいります。（※詳細については次頁をご参照ください。）

◆ロゴ、パースイメージ



◆「発想クロッシング」三つの「発想」の装置

①「発想の壁」



一見すると関連性がないようなモノ・コトも俯瞰してみるとモノガタリが見えてくる。

この壁から、世の中のあらゆるモノとコトを新しい発想で繋ぐ“問い”を投げかけていきます。

②「発想の卓」



入口から出口まで一連なりに長くつながる卓。その連なりによって、人から人へと無意識のうちに発想が連鎖していきます。そんな発想の連鎖を生み出す材料をテーブルの上にご用意していきます。

③「発想の窓」



窓は外部との境界。窓を通して外部へと思考を解き放つことで、発想も広がっていきます。内と外を発想でつながりかけや素材を、この窓辺に展示していきます。

◆博報堂のフィロソフィー「生活者発想」とは

生活者発想とは、ひとことで言えば「消費者＜生活者」という考え方です。「消費者」という概念は、商品の購買という経済の枠組みの中だけで人間を見ていますが、「生活者」とはもっと広い視野による概念です。

人は消費を目的に生きているわけではありません。食品・飲料も、家電品、自動車も、通信サービス、金融サービスも、生活する人間から見れば、自らの暮らしをより良くするために選んでいる手段や道具と言えます。目的は、モノやサービスの利用を通じた、豊かさや幸福の獲得にあるはずで

す。個々の商品の買い手ではなく、暮らしの作り手である人間を「まるごと」観察し、その根源にある価値観や欲求の変化を読み解いていく、それが生活者発想です。



消費者 < 生活者

◆「HASSO CAFFÈ with PRONTO」店舗情報

- 店名 : HASSO CAFFÈ with PRONTO
 - 住所 : 〒101-0054
東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番 テラススクエア 1F
 - 席数 : 81 席 (店内 65 席・テラス 16 席)
 - 営業時間 : 平日/7:00~23:00(L.O.22:30)
土日祝/10:00~18:00(L.O.17:30)
- ※FreeWifi あり、店内全面禁煙 (テラス席喫煙可)
- URL <http://hasso-caffe.jp/>

◆博報堂日本館を復元

テラススクエア 1F・2F 部分は、博報堂日本館を復元しています。明治生命館などを手掛けた岡田信一郎による作品で、1930年に竣工。新古典主義的でありながら、人造石による柔らかい印象の外観が特徴で、当時の面影を再現しています。

